

公共施設等のあり方

市民意見募集へ

10月30日から
11月20日まで

市議会常任委員会の機能停止でチェック困難に

市役所が公共施設のあり方の素案を作成し、10月30日から市民意見を募集します（市役所・支所・地区交流センターで閲覧）。



日本共産党飯塚市議
川上直喜

今回まとめられたのは、飯塚市第3次公共施設等のあり方に関する基本方針（公共施設等総合計画）素案です。全体で71ページ（概要版3ページ）。意見募集期間はわずか20日程度です。

素案は10か年計画で基本的な考え方は、①点検診断②維持管理③安全確保④耐震化⑤長寿命化⑥ユニバーサルデザイン⑦脱炭素⑧民間連携⑨広域化の9項目です。

地方自治の本旨（住民福祉の増進）の視点が貫かれているか、市民参画の視点はどうかなど真剣なチェックが必要です。

川上なおき 活動日誌 10月16日－22日

- 16日Thu 暮らしの相談（生活支援課・車の保有）
- 17日Fri 知事秘書室・農山漁村振興課－飯塚農林（筑穂土砂処分）
- 18日Sat 綱分八幡宮（放生会・神楽）
- 19日Sun 街頭宣伝（枝国・飯塚・庄内・鯉田・立岩）
- 20日Mon 飯塚病院（お見舞い）
- 21日Tue 旧潤野小学校解体工事の騒音調査
- 22日Wed 暮らしの相談（父親の介護）ちくほ図書館



新ごみ処理施設事業 住民に説明を



施設組合
WEB

11月26日に施設組合議会・用地買収費を審査か

ふくおか 県央環境広 域施設組合

組合長 飯塚市長
副組合長 嘉麻市長、桂川町
長、小竹町長
議員15人（敬称略）
飯塚市 赤尾嘉則・兼本芳雄・
小幡俊之・吉田健一・江口徹・
道祖満・坂平末雄・城丸秀高・
嘉麻市 中嶋廣東・田中義幸・
藤伸一
桂川町 下川康弘・林英明
小竹町 峯岡均・原準一

疑問がいっぱい

- ・総事業費816億円の根拠は
- ・住民負担はどうか
- ・21億円の温水施設は必要か
- ・用地取得費が鑑定8倍のわけ
- ・利権争いってどういうこと



ふくおか県央環境広域施設組合の定例会が、11月26日に予定されています。補正予算案と前年度決算案ほか審査される見通しです。

新ごみ処理施設事業用地買収費が計上されないか注目されます。

施設組合は昨年12月25日に続いて今年1月16日、臨時議会で否決しました（12月は賛成6・反対8、1月は賛成7・反対7）。事業者選考作業は直ちにストップしました。（下資料参照）

816億円という巨額の事業なのに、住民説明会さえ行わないまま、組合議員15人だけで決めていいわけはありません。

施設組合は2月定例会では、新ごみ処理施設関係予算を含む当初予算を全会一致で可決しています。

（単位：㎡，千円）

頁	項	目	目的	所在地	地目	地積	金額
7	清掃費	新清掃工場建設準備費	新清掃工場等建設用地	桂川町大字九郎丸	原野	1,063.00	142,645
					山林	8,821.00	
					宅地	387.97	
					保安林	21,602.00	
					雑種地	1,195.00	
					田	3,911.00	
					合計	36,979.97	142,645

川上直喜市議は、ごみ処理実績と計画の矛盾を明らかにし「いま新ごみ処理施設は必要か」と追及、住民説明会を要求しています。